

ワ〜クシヨップ

ひっつき虫 見つけた!!

アーティスト: 原倫太郎 + 原游

ワークショップ開催日時

2026年11月7日(土) 10:00~15:00

場所: 港南区役所1階区民ホール

対 象 小さなお子様からどなたでも参加いただけます。

参 加 費 無料

参加方法 当日受付(事前申込不可)

連 絡 先 港南区地域振興課 TEL.045-847-8399

※材料がなくなり次第終了

展示期間

2027年1月14日(木)

~24日(日)まで ※予定

会場: 港南区役所1階区民ホール

詳細は二次元コードにて



港南区では、アーティストと交流する
文化プログラムを推進しています。

今年は港南中央駅周辺に楽しいイベントが
盛りだくさんな「ひまわりフェスタ」にて、
「ひっつき虫見つけた!」を開催します。

カラフルな色紙を組み合わせ、オリジナル
の生き物や植物をつくってみませんか?

会場でお待ちしています。

むっき虫 ってなあに？

カラフルな色紙のパーツを組み合わせて、自分だけが想像する架空の「虫」をつくるワークショップ。つくり終わったら、ワークショップ会場にある、木や家、空、川、山など私たちが住む世界をイメージしたパネルに貼り付け、ひとつの里山を完成させます。虫たちの暮らしを想像し、普段は見逃している虫の存在を考えるきっかけになるプログラムです。完成した里山は港南区役所などで展示します。誰かのつくった虫をみながら空想のお話をするのも、またひとつの楽しみ方です。

アーティストからのメッセージ

私たちの子ども時代から比べると、身近なところからも虫は姿を消しています。数十年前は都心でも栗林の道を埋めるほどの毛虫が横切ったり、雨が降るとコンクリートの壁にナメクジやカタツムリが張り付いていたりしました。しかし年々、化学農薬の使用拡大や気候変動により、虫の減少、分布の変動が起きています。虫は、私たちにとってもなくてはならない存在です。死骸を分解し、土に帰してくれます。また、植物の受粉にも虫の存在が欠かせません。小型動物は虫を食べています。虫を作り、どこに住む虫なのかを想像することによって、普段は見逃している小さな虫の存在を考えるきっかけにします。



アーティストプロフィール：原倫太郎＋原游

インスタレーション作家の原倫太郎（1973年神奈川県生まれ 2000年Sandberg Institute修了）と画家の原游（1976年東京都生まれ、2001年東京藝術大学大学院美術学部美術科油画専攻修士課程修了）によるアーティスト・ユニット。個々の活動に加え、ユニットでの活動では観客参加の大型体験作品を多く制作している。主な展覧会に2012、2015年「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟）2019年、2022年「瀬戸内国際芸術祭」（香川）、など。絵本『匂いをかかれるかぐや姫〜日本昔話Remix〜』が「文化庁メディア芸術祭」エンターテインメント部門において奨励賞を受賞。（他）

アクセス

港南区役所1階区民ホール

〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号

●市営地下鉄「港南中央駅」より徒歩2分

こちらで
開催

上部写真：加藤南

